

発行者：株式会社神岡衛生社 電話：0578-82-0337 E-mail：jimu@k-eisei.co.jp



ビンの出し方が変わります

今年4月1日から神岡町のビンの出し方が変わります。
各ステーションには、3種類の色に分けて出してください。

今まで

色で分別をお願いします

透明のビン
透明ビン

茶色のビン
茶色ビン

その他の色のビン
その他
ビン



お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 神岡衛生社 TEL0578-82-0337
FAX0578-82-5846

業務内容

- 一般廃棄物収集運搬／し尿、ゴミ（一般家庭・事業系）
 - 産業廃棄物収集・運搬
 - 浄化槽清掃
 - 浄化槽保守点検
 - 浄化槽工事
 - 上下水道設備工事
 - 下水道施設維持管理（終末処理場・管路）
 - 衛生設備維持管理
 - ビルメンテナンス／床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
 - 水質分析／環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査
 - 環境衛生関連商品販売
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。

URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

ごみを減らしましょう

～南吉城クリーンセンターは悲鳴を上げています～

戦後から今日まで、日本は大量生産・大量消費をしてきました。このことによって物質的には豊かになりました。しかし、その陰でごみも大量に捨てられてきました。平成17年度、日本全国で処理された一般廃棄物は5,273万tでした。東京ドームに換算すると実に142杯分にもなります。国民1人1日あたりの排出量は1.1Kgです。身近な飛騨市の南吉城クリーンセンターでは、昨年度、9,692tのごみが処理されています(内訳:飛騨市分6,666t、高山市旧国府町・旧上宝村分3,026t、処理量は飛騨市提供)。

南吉城クリーンセンターは、平成元年3月の稼働開始から約20年が経過しています。老朽化が進み、毎年修繕をしながら使用しており、この修繕費を含め水道光熱費・燃料費・焼却灰や排ガス処理の薬品代、灰の処分料など年間億単位の経費がかかっているとのことです。南吉城クリーンセンターの延命と経費削減のため、そして何よりも環境保全のためには、一人一人がごみを減らす努力をすることが大切です。

では、どのように減らしたらいいのでしょうか?買い物に行くときにマイバッグを持っていけばレジ袋がごみになりません。あらかじめ献立を考えていけば買いすぎを抑えることができますし、腐らせて捨ててしまう食品を減らせます。外食の時にマイ箸を持っていけば木材の減量ができます。こんなちょっとした気配りで、ごみを減らすことができます。

また、最近、リサイクルの技術が向上し、ほとんどの物がリサイクルできるようになりました。いらなくなったものを適正に分ければ、ごみを減らすだけでなく、資源の節約にも役立ちます。しかし、実際には、燃えるごみの中に電池、ガラス、陶器、金属類、電気製品などが混入し、焼却後の灰の中から燃え残りが出てくるそうです。燃えないものを燃やそうとすれば、焼却炉にかかる負担は大きくなりますし、活かされるはずの資源が無駄になります。

飛騨の地をごみの山にしないために、今一度、日ごろの暮らしを振り返ってみてはどうでしょうか。

